



高月院

Kogetsuin Temple
(国指定史跡)

1367年足助次郎重宗の子、重政(寛立上人)が松平郷主在原信重の援護を受けて「寂静寺」として建立したと言われています。1377年に親氏が本尊阿弥陀仏をはじめ、堂・塔のすべてを寄進してから「高月院」と改め、松平氏の菩提寺となっています。その後、徳川家康によって寺領100石が与えられ、明治維新まで時の将軍家から厚い保護を受けていました。

山門や本堂は、1641年に徳川家光によって建てられたものと言われています。

松平東照宮 (国指定史跡)

Matsudaira Toshogu Shrine

松平東照宮に現存する水濺や石垣は、松平太郎左衛門家九代尚栄によって関ヶ原の合戦のあと築られました。はじめは、八幡宮と称して松平家の屋敷神でした。1619年(元和5年)家康を合祀し1965年(昭和40年)親氏を合祀しました。松平太郎左衛門家は、大正初期までこの地に居住しました。



産湯の井戸

Ubayu-no-Ido well

在原信盛が掘ったと言われ、松平家は代々この井戸の水を産湯に用いました。

岡崎城主松平広忠の子竹千代(後の家康1542~1616年)が誕生した際、この水を竹筒に入れ早馬で届けたと言われます。



松平郷史跡観光案内図



天下祭

天下峯で天下泰平を祈願した親氏の偉業を顕彰し、個性豊かな地域づくりの一環として有志により昭和63年に復活。厄男による厄祓いの裸まつりです。裸男の勇壮な「練り込み」と「玉鏡り」がみものです。(毎年2月の第2日曜日とその前日)



松平春まつり

1619年、松平太郎左衛門第9代尚栄が久能山から東照権現をうけ、この神社に祀ったことから始まる。土曜の夜は産湯の井戸で古式ゆかしいお水取りの儀式と、手筒花火の奉納。日曜が本祭で東照宮から高月院まで神輿渡御がなされ、墓所を拝します。(家康の命日4月17日直前の土・日曜日)



松平城跡

The ruins of Matsudaira Castle
(国指定史跡)

松平東照宮の南にある御城山には、親氏が築いた郷敷城とも言われる山城がありました。城には、本丸と二の丸があったと言われ、山腹には山を包む様に約400mの空堀の跡が残っています。城跡は室町時代の典型的な山城であったと推測されるもので、日頃は松平郷の居館にすみ、いざ戦いとなるとこの城にたてこもったと言われています。



松平郷展望テラス

Matsudaira-go Observatory Terrace

豊田市街はもちろん、見晴らしの良い日には名古屋駅周辺の超高層ビルや、伊勢湾までも眺望することができます。(第1駐車場より約950m、徒歩約15分)



武家屋敷風休憩所

天下茶屋

Tenka Teahouse

うどん、そば、天下もちなどが楽しめます。

TEL/0565-58-3725
営業時間/午前10:00~午後3:00
[水曜日定休]



松平東照宮の天井画

Ceiling paintings of Matsudaira Toshogu

